

スパム（雑誌『Effetto Arte』のための記事）

「若き」芸術家が、自称ギャラリスト、プロモーター、主催者、賦形剤、うま味調味料からの八千七百二十三通のメールを一掃するために、自分の受信箱をあらためる日がある。

ディープ・エコロジーはここからも始まる。

われわれの仕事を広めるための面白い提案をしてくる人ひとりに対して、口にするのははばかられる下品さを法外な値段で持ちかけてくる者が八千七百二十二人いる。

この状況のなかで「若き」芸術家は、現代の砂金掘りに姿を変えねばならない。言語道断な申し出をふるいにかける、芸術の西部劇じみた泥沼へ投げ返し、自らの財産となるであろう砂金と金塊をポケットにしまうのだ。

辛抱よく、われらが主人公は愛するイーゼルを離れ、この濃密な、けたたましい宣伝情報の川——別名スパム——に吞まれねばならない。

スパムという行為は、いかなる通信手段によってであれ、望まれていないメッセージを送りつけることを指す。語源は『空飛ぶモンティ・パイソン』のコントで、ある店が舞台となり、ウェイトレスの勤める料理のどれにも Spam という得体の知れない材料が入っていた。それはアメリカのホームル・フーズ社が製造する缶詰肉の商標である。

つまりスパムの缶詰こそ、この世紀初頭のキャンベルのスープなのだ。

この受難から逃れるために、望まれないメールと見知らぬ差出人からのメールを一挙に消し去ってしまっただろうか。

断じて否。

芸術家たる者、自らを好奇心へと強いねばならない。掘り下げ、手を汚し、糞を黄金に変える錬金の過程を成し遂げねばならない。マンゾーニ曰く。

長年のあいだ、私は迷惑メールのなかに、最良の協力者を、最良の仕事の機会を、そしてもっとも奔放な恋人たちを見いだしてきた。

ゆえにふるい分けの作業は続けねばならない。まずは件名にあからさまな性的申し出を掲げたメール——差出人は娼婦の類だ——を消し、次に、参加してもいないコンクールで「あなたが当選しました！」と嬉々として告げてくるメールを消す。

最後に残るのは、何か面白いものを含んでいるかもしれないメールだ。

われらが砂金掘りはそれを開き、できるかぎり短い時間で斜めに読み、その信憑性を見積もり、返信するか捨てるかを決めねばならない。

参加締切間近……——捨てた。芸術家は急いで仕事をするのが嫌いだ。

……での破格の展示の機会……——捨てた。あからさますぎる。

わずか……でルーヴルに展示することを考えたことはありますか……——捨てた。おやすみなさい。

拝啓「若き」芸術家さま、貴殿の作品を拝見いたしました。著名な批評家……の企画による本催しに、著名な都市……にて、著名な……フェスティバルの期間中、貴殿を加えたく存じます——返信する。

数分もたたぬうちに、われらが主人公のもとへ、自称プロモーター博士なる女性から電話がかかる。彼女は（その直前の二分間に、と想像するが）著名な批評家とともに検討したという作品を褒めちぎり、残席がわずかだからためらわないようにと勧める。

電話からわかるのは、プロモーター博士がミラノの人で、口が達者で、一生に一度の機会を提示しており、化粧も香水も濃いということだけだ。

せめて香水のためだけにでも、「若き」者はメールを受け取ることを承知する。三秒後、必要な情報一式を添えてそれは届く。

拝啓 若き芸術家さま

お電話にて申し合わせましたとおり、著名な批評家……の企画による……市での催しに、貴殿の作品を展示するご提案をお送りいたします。当方をご提供するサービスは以下のとおりです。

- 一) 全体の運営および事務局
- 二) 著名な美術批評家による紹介
- 三) 著名な知識人および美術批評家の開幕式への参加
- 四) 会期中の文化界およびテレビ界の著名人の来場
- 五) 設営および撤去
- 六) 警備
- 七) 現地における作品の保険
- 八) 著名な美術批評家による批評文の執筆（展覧会図録に収録）
- 九) フェスティバル図録の美術印刷
- 十) 招待状とポスターのデザインおよび印刷
- 十一) ウェブ上での催しの宣伝
- 十二) ロールアップの設計および印刷
- 十三) 各種後援の申請
- 十四) 貴殿の略歴と奥付のデザインおよび印刷（会期中フォレックス製パネルにて展示）
- 十五) 宣伝資料の配布
- 十六) 広報事務局
- 十七) 当局との連絡調整（文化財文化活動省、州、県、市）
- 十八) 開幕当夜のカクテルの手配
- 十九) 収集家および業界専門家への招待
- 二十) オープニングを撮影する専門のカメラマン
- 二十一) 新聞・ラジオ・テレビが参加する記者会見の開催
- 二十二) 専門誌における本催しの広告枠
- 二十三) 開幕当夜の専門写真家および写真収録CDの引き渡し
- 二十四) 開幕の映像の制作および編集
- 二十五) 展覧会開幕後のガラ・ディナー
- 二十六) 開幕当夜のホテルの客室

このサービス一式につきましては、経費の実費弁償として二万八千ユーロ＋付加価値税、ならびにフェスティヴァル出品作のうち当方が選ぶ貴殿の作品一点をお願いいたします。この興味深い機会をご理解いただけるものと確信し、ご返答をお待ち申し上げます。敬具。
プロモーター博士

われらが芸術家はただちに悟る。「若き」者である以上、「経費の実費弁償」として求められた額のごく一部さえ自分は持っていないのだと。そしてその言葉そのものの意味を自問しながら、こうも悟る——無用なメールの分析に時間を浪費しているが、もっと実りある使い道がある。自分の二万通のメールを送って、新しい絵がもうすぐ仕上がると皆に知らせることだ。

かくして自然の循環が完結する。それはあの絶え間ないゴミ情報の生産を生み、そのゴミがゆっくりと腐り、腐葉土となり、その上で芸術が芽吹き、容赦なく育っていくのである。

Luca Motolese · Torino 2017

motolese.com — 原文はイタリア語